

一般社団法人 日本応用地質学会
令和2年度・2020年度
第5回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会 議事録(案)

日 時 : 2021年1月28日(木) 15:00~17:00

場 所 : Zoomを用いた Web 会議

出席者 : 長谷川委員長、菊地副委員長、加地委員、昆委員、徳楠委員、水野委員、百嶋委員、百瀬委員、安田委員、山下委員、山田幹事

委任状提出: 越谷委員

陪席: 千木良 IAEG Japan National Group 代表

議事:

1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2020年11月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。
- ・アジア地域の IAEG-NG との交流活動(韓国、台湾ほか)については、コロナ禍の収束を待って活動を再開する。
- ・JSEG 英文パンフの更新を検討する。

2. 理事会報告

- ・令和2年度第9回理事会の内容について報告がなされた。

3. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1) IAEG 事務連絡

1) IAEG Newsletter No.4 関連

- ・2020 No.4 の内容について説明がなされた。
- ・2021 No.1 への投稿原稿の準備を進める。

2) IAEG Connector E-News 関連

- ・直近の発行内容について説明がなされた。
- ・今回の対応で、比較的容易に依頼文書を掲載してくれることが分かった。今後も海外への情報発信に有効活用していく。

3) Young Engineering Geologist (YEG) 関連

- ・YEG の活動状況について説明がなされた。
- ・次回のタイバーシティ推進特別委員会で YEG の概要を紹介し、次々回委員会では具体的な活動内容を紹介する。それらの紹介と合わせて、YEG 情報をアースサロンでも取り上げてもらうように働きかける。

(2)その他

1) アクションプラン 2021-2022 (案)

- ・「IV-4 国際活動の活性化」について、具体的な活動案を追記する。追記内容は2点とし、①RMEGV2021 関連の活動、②会員の持つ国際的な経験・情報を交換するためのワークショップを開催して国内外の情報発信の活性化を図る、などとする。

2) 学会誌 Bulletin 紹介

- ・学会誌4月号での掲載予定記事を確認した。引き続き最終稿の提出へ向けて対応を進める。
- ・最終稿については、日本語版&英語版 HP への掲載準備を進める。
- ・同6月号の担当委員は、原稿締め切りの3月末へ向けて準備を進める。
- ・現在のスタイルは、翻訳も含めた作業時間が膨大になる傾向が強い。次回以降の国際委員会において、今後の進め方について継続的に議論する。

3) 海外シンポジウム

- ・現在、学会 HP に掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で、JSEG_HP のトップページでの周知を手配する。

4) 海外調査団報告書の著作権チェック

- ・HP での新たな試みとして、年内を目途に、海外調査団報告書の再掲示へ向けた使用図表類チェックを進める。チェック作業の対応期限は4月末までとし、次々回の国際委員会にて内容を確認する。

5) タイバーシティ推進特別委員会

- ・当委員会の第2回議事録について説明がなされた。

4. ホームページ関係

(1)JSEG 英語版 HP

- ・今後の HP 更新担当を変更する。
- ・SNS の積極活用について:英語版 HP はポータルサイト的な位置付けとし、各種情報の更新は Facebook や Twitter を活用する方向で検討を進める。まずは、各サイトに最適な発信情報の仕分けや問題点を洗い出す。
- ・SNS によるサイト開設に際しての注意事項等について、広報・情報委員会に確認する。
- ・直近での新たな試みとして、国内災害情報の速報的な情報提供(SNSなど)や災害調査団写真集コーナー新設(HP)などの対応準備を進める。

(2)JSEG 日本語版 HP

- ・同HPにおける英語出版物(廃刊)や海外調査団報告書のpdf化→HPアップロードする際の問題点や運用ルールについて、次回の総務委員会で確認する。

5. 海外情報の共有

- ・「海外アラカルト①_海外業務におけるリスクや違い」について紹介がなされた。
- ・次回委員会以降でも継続するため、海外業務の経験豊富な委員への協力を要請する。

6. その他

- ・次回委員会(令和2年度_第6回)は、令和3年3月もしくは4月に開催する方向で調整する。